

どのえが、どのかんじになったのかな？
 □のなかに、いまのかんじをえらんでいれてごらん。



1 かんじはえからできたんだ

月つき

燕つばき

日ひ

山やま

木き

石いし

鹿しか

鳥とり

馬うま

虎こ

魚いし

水みづ

象ぞう

犬いぬ

川かわ

亀かめ

蛙かえる

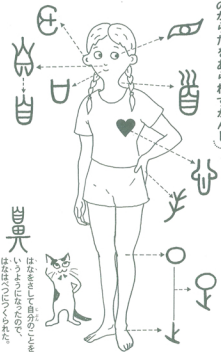
むかしのかん字
どうぶつランド

かんじはみんな
えからできたんだよ。

3 カルタでかんじをおぼえよう

101 かんじカルタ

（人や人のからだをあらわすかんじ）



鼻

はなをききして自分ののびたのびた鼻
いうようになつたので、
はなははなびつへんがられた。

カルタとりをしよう。



うえのカルタは、「え」と「なえことば」。
したのカルタは、

「えもじ」と「いまのかんじ」だよ。

びったりなのをせんでむすんで「ごらん」。



うすいせんをなぞって
かいてごらん。
□のなかにもかいてね。



あしがたと
ひざのさちから
きたる足



はなすのも
たべものも
くちすも



ごほんゆび
ぱつとひらいた
手のかたち



ものをきく
耳はあたりの
りょうがわに

口

くち

耳

みみ

手

て

足

あし

口

口

耳

耳

手

手

足

足

しぜんやばしよをあらわすかんじ



かんじの画のいろわけだよ。
 まえにもやったね。
 「かんじカルタ」のいまのかんじは、
 どんな画からできているかな？
 十の画のいろでぬりわけてごらん。



さんかくの
 てっぺんとがた
 たかい山



たえずなく
 みずがながれる
 さんぽんの川



くもがでて
 ぽつぽつ
 ふりそそぐ
 雨のとき



がけしたの
 かまのいご
 石のまじ



ほりだされ
 ひかひかひある
 金のまじ



あざあざで
 「あひくへん」の
 本のまじ



おおむかし
 すむえした
 穴のまじ



- ① よこせん — あか
- ② たてせん — あお
- ③ ななめせん — き
- ④ かくかき — みどり
- ⑤ ななめかき — オレンジ



おおとり(菌)が
 風をうけて
 舞もどる



かわのなか
 たえずことなく
 ながれる水だ



土のかみ
 くまのいのちを
 守るペンギン



あおいそら
 まるくまぶし
 かがやく日



そらにうた
 みかじの
 かたちあひるま



ほつほつと
 もえて火の
 たいまつ



みみをすまし
 かすかにひやく
 音をきへ

